

2020 年度ヤマトグループ辞令交付式 社長訓示（要旨）

新入社員の皆さん、ヤマトグループへの入社、おめでとうございます。

本来、グループ各社の新入社員の皆さん全員が一堂に会し、グループ入社式を執り行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、皆さんやご家族の方々の安全を最優先とし、延期を決定いたしました。

入社していただく日に全員が揃えないことは大変残念ですが、後日改めてグループ全体で歓迎式典を執り行う予定です。その際は、経験を積み、ひと回り成長した皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

さて、ヤマトグループは昨年 2019 年 11 月 29 日に、創業 100 年を迎えました。そして 2020 年は次の 100 年に向けた、スタートとなる極めて重要な年です。これからの 100 年も、当社がお客さま、そして社会に愛されながら、成長を続ける企業グループとなれるよう、是非皆さんと共に取り組んでいきたいと思えます。

私たちは 2020 年 1 月に経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」を発表しました。このプランは、当社が社会インフラの一員として、お客さまに正面から向き合い、持続可能な社会、そして豊かな社会の実現に貢献を果たす企業となることを目的としています。

今後、この改革プランを共に実現するため、皆さんには次の 3 つの資質を持っていただきたいと思えます。

それは「人間力」、「広い意味での好奇心」、「挑戦する心」です。

そして、こうした変革期だからこそ、これまで私たちヤマトグループがずっと大切にしてきた、変えてはならない理念があります。ヤマトグループでは、この理念を「社訓」として表しています。

社訓は、3 つの内容で構成されています。

「ヤマトは我なり」

一人一人が会社の代表として行動するべきという、「全員経営」を表しています。

ヤマトグループ最大の資本は「人」です。社員の皆さんは、会社における最大の財産なのです。

「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」

1 つ 1 つの荷物にはお客さまの想いが詰まっています。ただ、荷物を届けるだけでなく、

その想いをしっかりと送り先まで届ける使命が私たちにはあります。

「思想を堅実に礼節を重んずべし」

「コンプライアンスの遵守」を表しています。私たちは、社会の一員として一人ひとりが常に高い倫理観のもとで、礼儀と節度を重んじた行動をしなければなりません。

これらの理念は、企業として実現したい思想であり、社員の皆さん一人ひとりがこれを胸に刻んで社会人活動の規範とし、仕事にあたってほしいと思います。

最後に、私から新入社員の皆さんに期待することを3つお話します。

1つ目は、関心・興味を持つこと。

つまり「視野を広げる」ことです。色々なことに興味や関心を持ち、日本だけではなく、世界の変化やトレンドをキャッチできるように心がけてください。

2つ目は、行動・体験すること。

つまり「挑戦すること」です。どんなことにも積極的に活動し、様々な挑戦をして欲しいと思います。

3つ目は、振り返り、考え、吸収すること。

行動も大事ですが、しっかりと考え、自分の取った行動の結果を振り返り、そこから学んだことをしっかりと次に活かして行ってください。

この3つのサイクルをしっかりと自分で回すことができる社会人になってください。

ヤマトグループが、次の100年もお客さまに愛され、社会に貢献できる企業グループになるためには、ここにいる768人の皆さんの力が必要です。ヤマトグループ23万人の一員としてグループ一丸となって、一緒に未来を作り上げていきましょう。

ヤマトホールディングス株式会社
代表取締役社長 長尾 裕